

## 2023年度アドバイザリーボードミーティング 議事概要

日時：2024年2月16日（金）11:00～12:50

場所：駿河台キャンパス16階1620号室

出席：アドバイザリーボード（5名）、教員（10名）、事務局（4名）

欠席：3名

資料1 2023年度アドバイザリーボードミーティングの開催について（ご案内）

資料2 戦略経営研究科アドバイザリーボードに関する内規

資料3 中央大学ビジネススクール戦略経営研究科紹介（プレゼンテーション資料）

資料4 中央大学大学院戦略経営研究科戦略経営専攻に対する認証評価結果

開式後、戦略経営研究科教員の自己紹介が行われ、その後意見交換を実施した。

### 主な意見等

#### 1. 変化対応・意識改革について

- ・メディアや事業は多角化が必須であり、30～40代の意識改革が課題である。教育でも変化を促す視点が重要である。

#### 2. リーダーシップと人を動かす力について

- ・知識を組織にどう生かし、人をどう動かすかが最大の課題である。
- ・SNSは諸刃の剣だが、対話やコミュニケーション力向上に有効である。
- ・学生の関心も「離職率」や「パーパスと組織の整合」に向いている。
- ・理想像にとらわれず状況に応じたリーダーシップを学ぶ設計が必要である。修了生による実事例共有も有効である。
- ・授業ではSNS（例：TikTok等）も活用している。

#### 3. 学びの場づくり・リアル重視について

- ・知識を実践へ変えるには、リーダー経験者との長時間接触や非公式交流が重要である。
- ・土日の対面授業は共感力の養成に効果的である。
- ・ゼミや課外交流で学生と教員の継続的コミュニケーションを確保している。

#### 4. 広報・ブランド価値向上について

- ・駿河台移転の効果を含め、外部への発信を強化すべきである。
- ・AMBA認証取得を広報戦略として活用し、著名人招聘や公開イベントも有効である。
- ・国際認証は志願動機に浸透しつつあるが、さらなる工夫が必要である。

#### 5. 卒業生の活用、追跡調査について

- ・卒業後の成長を可視化するため、人事部への照会など、追跡調査をしてはどうか。
- ・学歴表記（役員欄など）を通じたブランド強化も検討の余地がある。
- ・修了生向けのオープンセミナーなど、継続的な学び直しの仕組み拡充が必要である。

#### 6. 入学動向について

- ・合格者の一部が他校へ流れる傾向がある。自校の強みや改善された教育環境などをより積極的に訴求すべきである。

#### 7. 社会性の涵養について

- ・知識やスキームを生かすには社会性が不可欠である。
- ・学生・教員双方で企業の社会的責任への関心が高まっており、教育プログラムに組み込むことが課題である。

#### まとめ

- ・人を動かす力・共感力を核に、リアルな交流や修了生ネットワークを活用した教育を強化する必要がある。
- ・AMBA 認証や環境整備を外部へ積極発信し、ブランド価値を高めることが必要である。
- ・卒業生への追跡調査と活用を制度化し、社会における成果を可視化することが必要である。
- ・最新実務と社会性教育を統合し、実践的・国際的なビジネス教育を深化させることが必要である。

以上